



ぴっぴだより

No.2 2014.4.30

お家に降り積もっていた雪は、どこにいったのでしょうか…。ちゃんといつものように変わって春がやってきました。一帯で大きく変わったのはぴっぴの活動場所。ご存知のように「広場」を使いなくなりました。おて親心で、たっぷり遊んでくれた広場です。「今日から広場は使えません。森で遊びます。」という説明が、どれくらい伝わるのだろうか。不安もありました。しかし一度説明しただけで、おおきいくみの子ども達は、誰も広場に行きそうにはありません。そして時々広場に行ってしまうごんぐりさんに声をかけて休んでいます。ごんぐりさんも少しづつ、そのことを理解し始めています。

それでも、広場にあった「小さいお家」は、ここ遊びを充実させてくれた場所ですから、名残惜しさもあります。使えないことも理解しながら遠慮がちに「あーあ、このお家が森にも欲しいなあ。壁が白くて、屋根が赤くて、みんなが入れやすい大きい！」とけうけう腫れをかやかせと語ります。早速、枝をいっぱい集めて、大きな森のお家を作り始め、テーブル置き、丸太の椅子をセッティングしました。自分たちの敷物を持ち込み、水筒を枝にひかけて、連日ここ遊びが広がっています。「ぴっぴの森づくりの日」では、ごんぐりさんともたの愛を受けとめてくれたツリーハウスづくりも始まりました。なんと二階建て!! 建設途中のツリーハウスにようこそ。子どもたちも愛を込めてくれています。

東屋、テーブル等も使えなくなり、いろいろが不便があります。でもぴっぴの森づくりの日、長椅子やホルートの制作にご協力頂き、雨の日でもほしく過ごす準備が整ってきました。ぴっぴの森で過ごす時間が増えて増え、足元や頭上が食になりはじめ、根っこも掘りだし、枯れている高いところの枝も切り落したり、昨年度まではあまり手をつけなかった森のメンテナンスにも力が入ってきました。「なんたかごんぐりさん、森がかわりましたね。」と声をかけてくれた方々もいました。確かに、おて過ごして来た森ですが、より愛い、存在に感じられるようになってくれたのは間違いありません。

ごんぐりさん、森で、ごんぐりさん10人も場所、時間、道具、そして人に慣れようとしている真最中。新しい環境での不安、緊張、興奮、疲れ…。みんな一所懸命。土をかき、泥をこね、木に触れ、棒を振り回し、シャベルの取り扱いをし、思い、思いこころ、心と身体全体を使って、ぴっぴの感触を味わい、ゆっくりじっくりと安心を少しずつ見つけ出しています。でもなにか、いっしょあって当然です。この時期、大切なのは、できるようになることではなく、できずに困っていることを伝え、いい人だと安心感を見出すことです。10人か、ひとりひとりそれぞれのアプローチで過ごそう。おおきいくみの子どもたちにも手助けしてもらいながら、私たちスタッフも支えていきます。

新聞等でも報道があった通り、今年度長野県は「信州型自然保育検計普及事業」をスタートさせました。ぴっぴのような森のようちえんも県として認定し、普及しようというものです。「森のようちえんは「自由放任」と誤解されることよくあります。決してそうではないことは、ぴっぴの子どもたちの姿を見てもよくわかることです。たしかに、ぴっぴは「自由」を大切にしています。でも、それは、自由放任、自分勝手、やりたい放題ではありません。仲間や社会との関係の中で、どう感じ、どう考え、どのように行動するかを自分で決めることのできる、そんな自由を大切にしながらも、今年度も一年間、関わり合いを深めていきたいと思っています。

慎之介

おおきいくみだより

2014年度、おおきいくみは、19名でスタートです。

♪おはよう 地面 おはよう 太陽 おはよう 石や花 おはよう 鳥
あなたに おはよう わたしにおはよう ♪



おおきいくみの「おはようのうた」に、よく耳を傾ける新松ぼっくりさん。松ぼっくりさんにとっては、ひとつひとつが新鮮です。

おおきいくみでは、朝の集まりの前にマラソンに行きます。今年度初の、おおきいくみの日。マラソン前の準備体操の時、おおきいくみが体操を始めると、松ぼっくりのみんなは横一列に整列…。「キョトン…」とおおきいくみとたちの体操を食い入るように見えています。「体操しよう!」と声をかけても、見ているだけ…。

でもマラソンが始まると、一糸縻に走りだしました。冬の装束から春の装束になった、おおきいくみのひとたちの身のこなしの軽さ。遊びの中でも早速、けいこや鬼ごっこが始まり、周回道路から森を駆け抜け、走りまわるとスピードが速い! 松ぼっくりの達人くん、武蔵くんも、おおきいくみに混ざって、ルールのある遊びを楽しんでいます。真実くん、なつめちゃんも「病院」という設定で「病気の人はいませんか?」と病人を探して回り、薬を処方したり、治療したりして、どんどんアイデアを出して、ここ遊びで想像を膨らませて遊び込んでいます。蒼空くんは、くりの男の子たちにくっついて、まわり「鬼がいた!」と棒を使って、単独の鬼ごっこや仮面ライダーごこの仲間に入っています。求くんは、バケツに水を汲んで、池作りをしたり、「あずかちゃん、あそぼ!」とおおきいくみに声をかけ遊びに誘っています。

ついこの間まで、ごんぐりだったひとたちが「おおきいくみ」のひとたちになっています。まだ始まったばかりの、ごんぐりさんのいる、ぴっぴの日は、泣いていたり、困っている、ちいさいひとたちに、大人は手を取らせています。おおきいくみとたちは、自分たちで遊びを見つけ、友だちと遊びこんでいます。子どもだけの豊かな時間を感じることがありました。おおきいくみの「帰りのスズ」が、鳥、たけ、何で? もうそんな時間?と求くん。キューッと遊び込んでいくから時間が短く感じます。

♪も、と、あそんでいたのに、帰るじかんになりました
森も、鳥も、まわってね、あしたも、はやくくるからね ♪

みんなの気持ちがいっぱい詰まった、おおきいくみの「帰りの歌」です。今年度も製作や集回遊び、アート、料理、劇あそび…と、いろいろなことに、取り組めるようプログラムしていきたいと思っています。

美穂

お知らせ

- どんぐりエんの降園時間が変更です。

5月7日(水) ~ 13時 (13時~スタッフが様子をお伝えします)

- 5月の森づくりは 11日(日) です。

参加できる方は お知らせ下さい。

- 今年度も1回目の保護者会があります。万障お繰り合わせでご出席をお願いいたします。

日時 5月13日(火) 9時20分~お昼頃

場所 バイブル マンホール (お茶室/昼食を召し上がり方は14時から使用可能です)

- 5/23(金)に身長計測を予定しています。数値を記入したプリントを後日配布いたしますので、体重記入・捺印の上、一週間程ご自宅に保管をお願いします。

- 今年度もひび入園前の0・1歳児の親子や妊娠中の方を対象にした「くるみの日」を開きます。ご希望の方がいらしたらひびホームページをご覧ください。お問い合わせをお願いします。

日程は 5/21(水)・5/28(水)・5/17(水)・5/15(水)です。

- おおきくみの方へのお知らせ

1. ライオンガードの保育が開始です。5月の予定は

12日(月) 19日(月)

よろしくお願いします。

2. 5月のアート日。 8日(木) 22日(木)

アートセットを配布して下さい。

3. 5月のえいごにたいし。 14日(水)

4. 今年度一回目の「お料理の日」は 5月15日(木)を予定しています。お弁当は川越さん。水筒のみをお願いします。メニューは、子どもと相談します。毎月1回を予定しています。ラシカ代300円は、納入額としてお納めいただきます。



田畑の様子

4月14日(月)おおきくみで田んぼへ出かけました。今年初めての田んぼの作業は「種もみ蒔き」。昨年も経験したお米蒔きからひとまわりの外に「もち米の種もみ」を水に浸して14日目、種の立筋からは小さく成長が見え始めています。これと田んぼの隅に土を盛って作った苗床に「べらべら蒔くのが今日の仕事」。大くり、くりさんには左手に湿った種もみを握りしめ、右手で一握りずつと取り同じくうがらないように、丁寧に土の上に置いていきます。その上におおきくみ達が土をべらべらとまいて、種もみが見えなくなるまで土のお布団をかけてあげます。さらにその上にもみ殻(玄米の外側の穀物の一部)を焼いて炭にしておいた「もみ殻くん炭」で覆います。こうすることで、土の黒さが日光を吸収して温め、さらにくん炭は苗の栄養にもなるといわれます。さあ、上からビニールをかけ、毎日水がひたひたに種を浸すように調整してあげて苗床の出来上がり。もう今は可愛い緑色の芽が顔を出し、くくくと伸びています。10センチ伸びてきたらいよいよ田植え... 5月下旬から6月初旬まででしょうか。これからのお天気次第... となります。今や稲作をしている農家でも苗は農協から買うもので、自分の田んぼでとれた種で苗作りをしている家はほとんどありません。種から芽が出て、それを植えてまた種を作る... という当たり前のことが「おおきくみ」に見られるのは大変なことですよ。

また4月末にはおおきくみでかわいいうちの稲の芽を見て田んぼに行き、とまりの火田ではカブやにんじんの種まきをしていこうと思います。
: 美和子

ひびの森の動物たち あしあとを探ろう?

<4月 ツキノワグマ>

日に日に緑が芽吹き、花が咲き、吹く風がいよいよ感じられる季節になりましたね。ひびで歌っている「春の風が、ふいてきたら〜」の歌もついつい口ずさみたくなります。春の訪れと共に眠っていた木々、花だけでなく、森の動物たちも目を覚ましはじめ、今年度の「ひびの森のなごみたち」は「動物たち」を月ごとに紹介していきたいと思っております。月謝袋の足あとと連動していますので、今月は「どんな動物かな?」と想像しながら楽しみに読んでいただけたら嬉しいです。

今月の足跡の持ち主は、コブシの花が咲くころ、冬眠から目覚める「ツキノワグマ」です。ツキノワグマは冬眠中、子どもを産み、穴の中で1~3頭とお母さんが飲まず、くわずでお乳で育てます。春がくる頃には体重は最初の10倍にもなっているのです。お母さんはきょとお腹ペコペコでしょうね...。でも、そんなクマたちの春の食事メニューは、フキ、トウモロコシ、ウド... とハルシエな山菜が中心です。私もそろそろ山菜が食べたくなってきました。クマさんにおそろわけていただくに山に採りにいこうかな...。



: 栗の虎